

岸田外務大臣と語る

～これからの日本外交～

平成25年3月20日 外務省

●外務大臣の仕事

◆ある日の外務大臣の日程

7:00	国会答弁の打ち合わせ	15:30	沖縄関係大臣会議
8:25	閣議	16:00	外務省政務三役会議
9:15	定例記者会見	16:50	来客
9:50	衆議院予算委員会で答弁	17:00	来客
~10:30		17:20	大臣室会議
11:00	来客	18:00	外務省で訓示
12:00	昼食を取りながら打ち合わせ	18:20	中東関係協力促進会合
13:00	衆議院予算委員会で答弁	19:00	会談
~13:50		19:30	共同記者会見
14:00	外務省内会議	20:00	ワーキングディナー
14:40	外国要人表敬訪問	21:00	欧州外務大臣電話会談
15:00	官邸で総理と打ち合わせ	22:00	大臣室打ち合わせ

●就任3か月の危機の経験

◆北朝鮮による核実験

◆中国公船による度重なる領海侵入、中国政府航空機による領空侵犯、中国海軍艦艇による火器管制レーダーの照射

◆アルジェリアにおけるテロ事件



危機から日本を守り、
平和と繁栄を確保する外交

●外交政策の3本の柱

◆日米同盟の強化

◆近隣諸国との協力

◆経済外交の強化

(第1の柱)

●日米同盟の強化

◆日米同盟は日本の外交・安全保障の
第一の柱

◆2月の総理訪米で日米同盟の
強い絆を再確認

安全保障、アジア太平洋をはじめとする地域情勢、
経済などについて話し合い

(第2の柱)

●近隣諸国との協力

- ◆日本は戦後68年、一貫して平和国家
- ◆日本の平和と繁栄を確保するため、
地域の平和と繁栄の維持が必要
- ◆普遍的価値や考え方を共有しあう
国々との協力強化が重要

●日本を取り巻く脅威：北朝鮮

- ◆核実験・ミサイル発射を断固として非難
- ◆国連安保理制裁決議の採択を評価
- ◆拉致問題の完全解決へ向け全力

●韓国

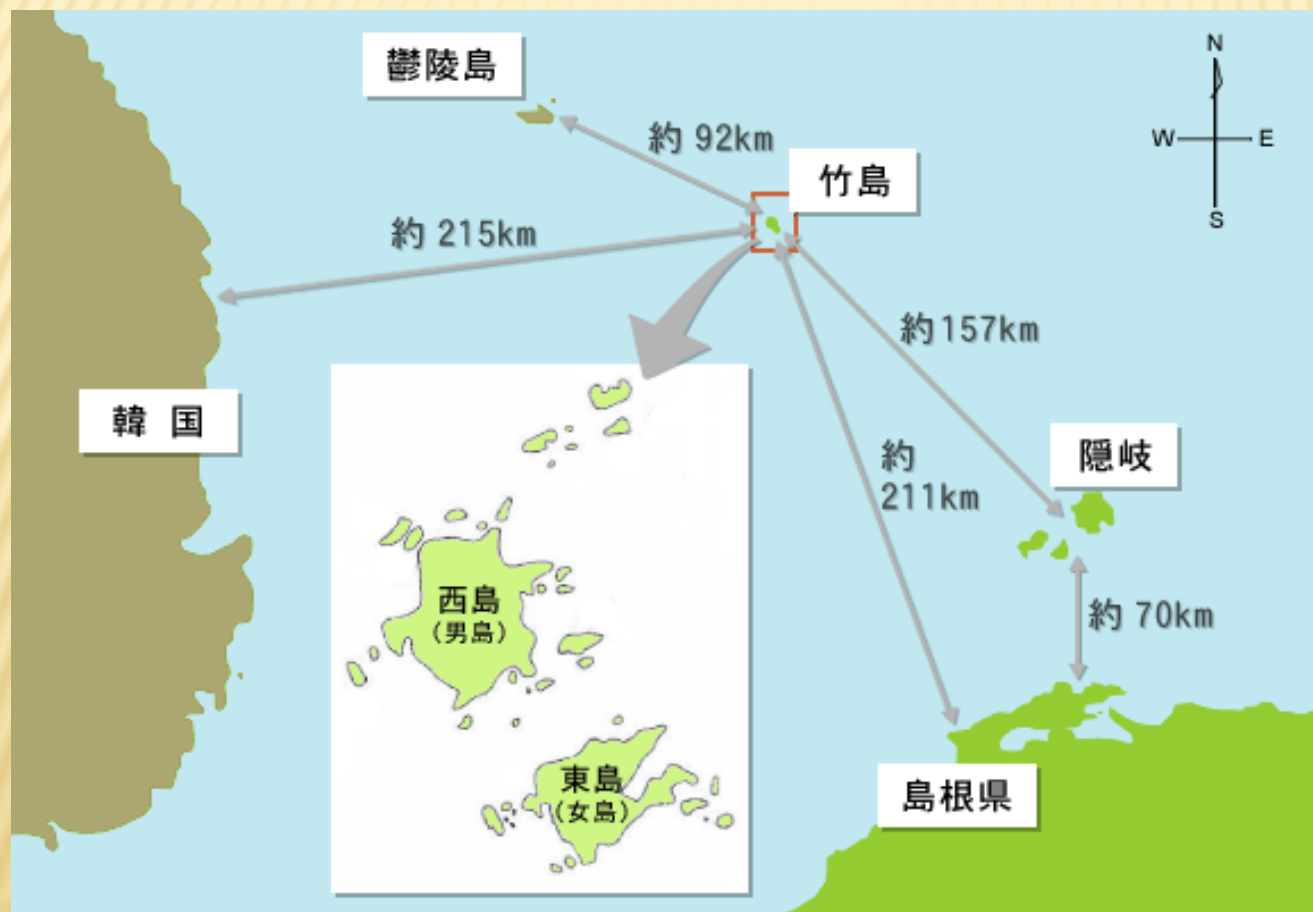
◆地域の平和と繁栄を共に築く パートナー

北朝鮮への対処などの諸課題で協力

◆竹島問題

日本の主張をしっかりと伝え、粘り強く対応

◆竹島



●中国

◆日中関係は最も重要な二国間関係の一つ

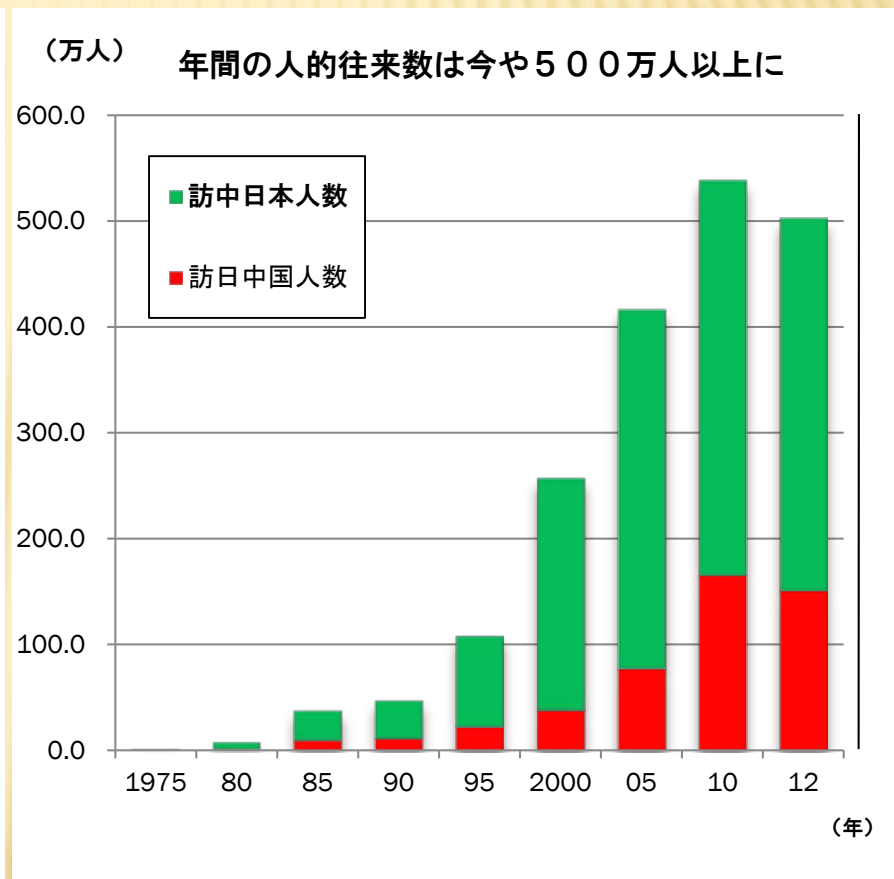
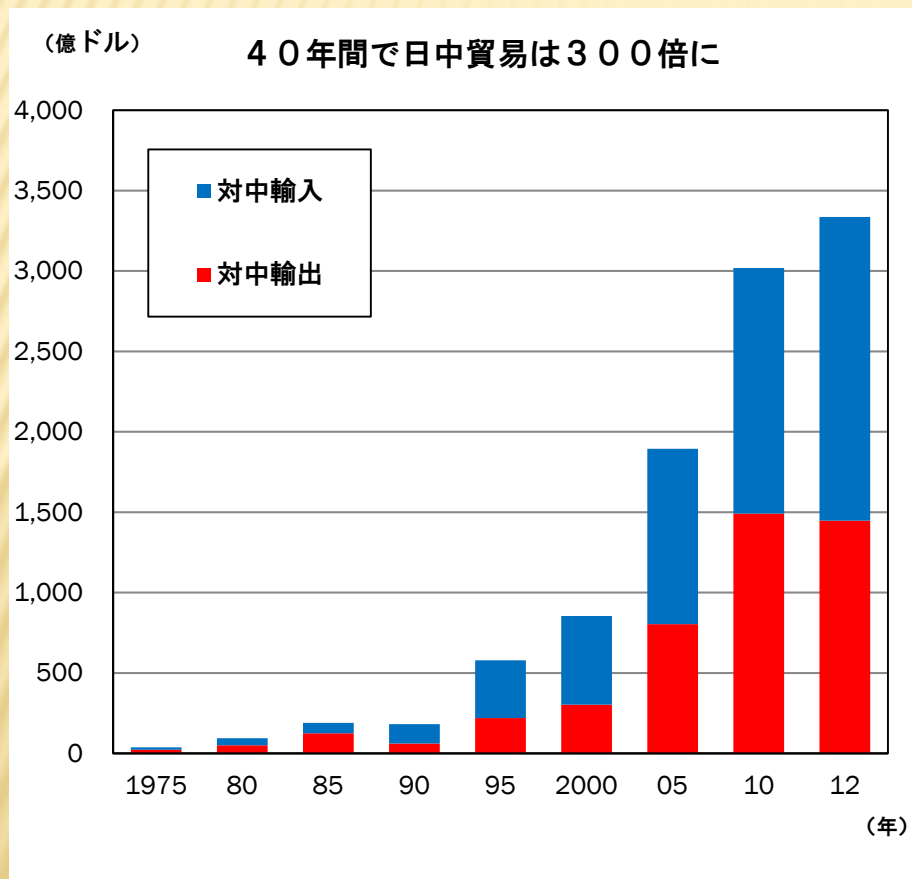
「戦略的互惠関係」を推進

◆尖閣諸島をめぐる情勢

冷静に対処しつつ、中国との間で粘り強く
対話を行い、自制を強く促す

●中国

◆国交正常化40年で貿易や人の往来が飛躍的に増加



(出典) JETRO、JNTO、中国国家旅游局、外国貿易概況

◆尖閣諸島



●ロシア

◆アジア太平洋地域の平和と繁栄に責任

地域のパートナーとしてふさわしい関係を構築
安全保障、経済などあらゆる分野で協力

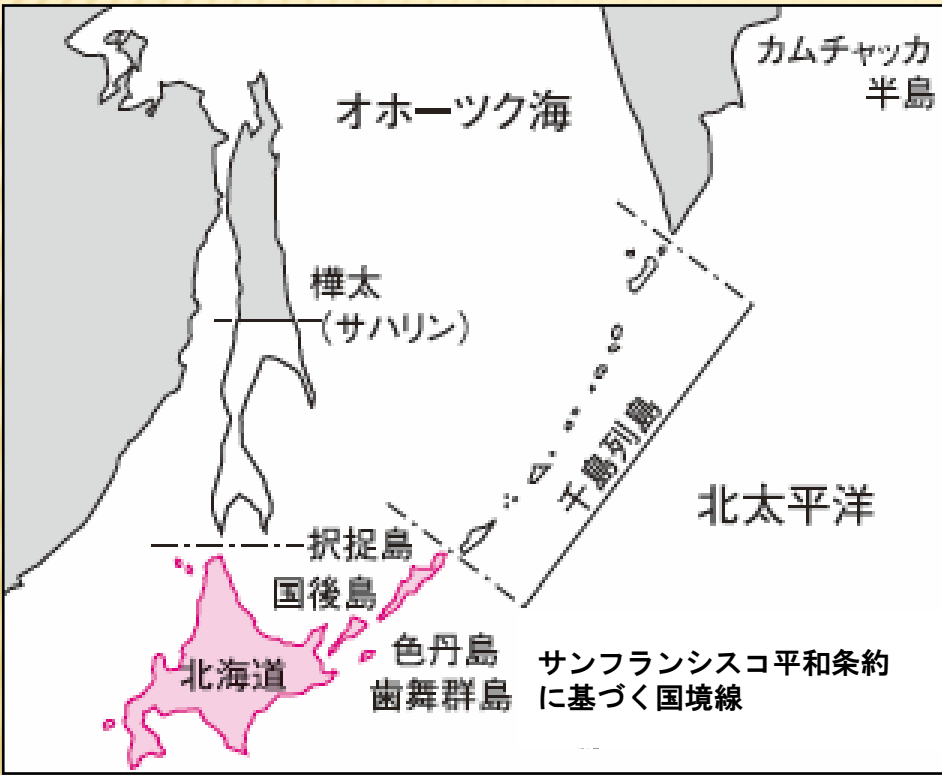
◆北方領土問題

四島の帰属の問題を解決し、平和条約を締結
すべく粘り強く取り組んでいく

◆総理の訪露：10年ぶりの公式訪問

日露関係の発展に新たな弾みを

◆北方領土



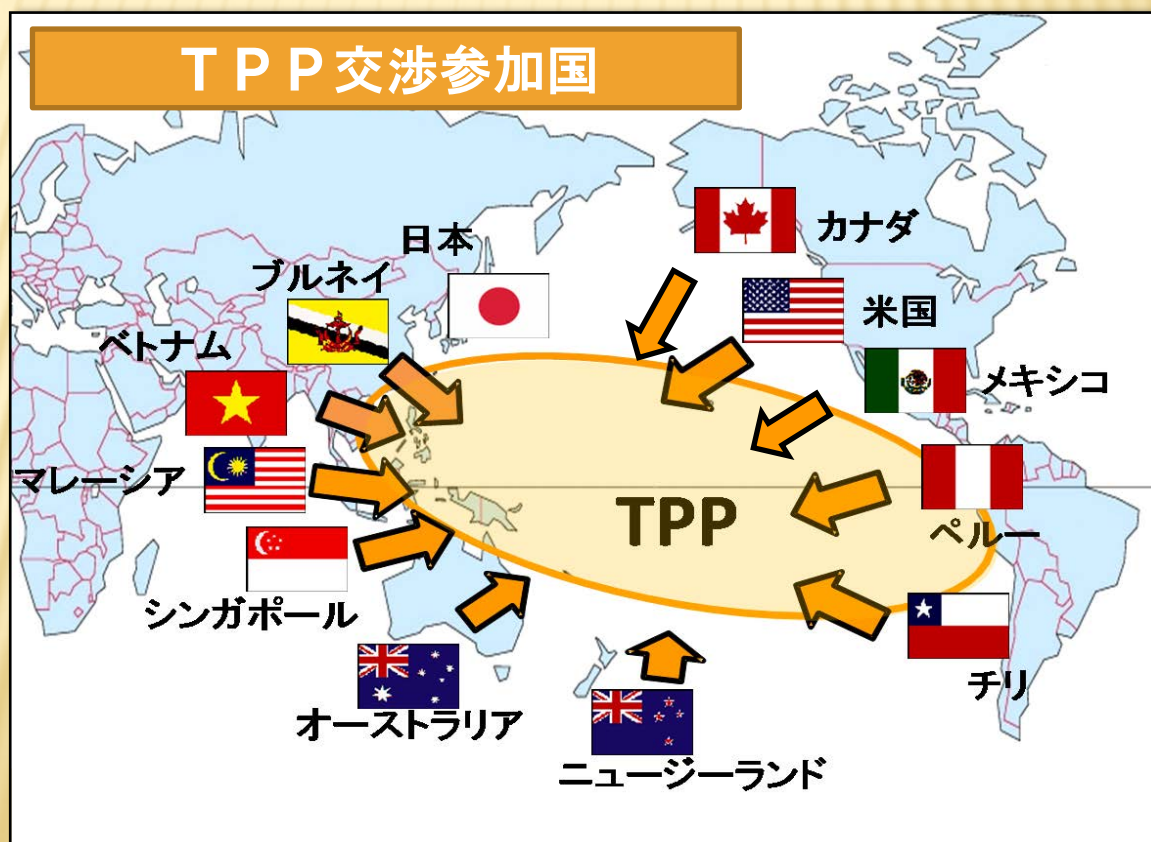
(第3の柱)

●経済外交の強化

- ◆経済パートナー国との貿易・投資の自由化は重要
- ◆同じルールで経済活動できる枠組を作り、お互い合意できるルール作りを目指す

● T P P

- ◆アジア太平洋地域で貿易と投資の更なる自由化を目指すための取組
- ◆今月15日安倍総理はT P P交渉に参加すると表明



●さらなる外交課題

◆「核兵器のない世界」

唯一の戦争被爆国として、
核軍縮・不拡散に取り組む

◆パブリック・ディプロマシーの強化

政策の広報と、我が国の魅力や
価値の発信の強化

●おわりに

これからも外交に関心を持ち続け、
私たちの活動や外交政策への支援を
おねがいします。